

# 施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

## ①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ぎょうせい分野	担当課	財産監理課				
	政策分野	行政運営・市民協働	課長名	奥村 裕昭				
	施策	23 財産の有効活用		重点施策の該当	2019	-	2020	-
施策の目的	対象	市有財産及び公共施設		意図	適正に管理し、有効に活用する			

### 施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時		指標の推移				最終目標値	
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値		
未利用財産の有効活用率(%)	-	-	66.2	66.8 (67.0)	69.0	70.0		
公共施設等総合管理計画を実行するための、実施計画の策定進捗率(%)	-	-	20.0	20.0 (75.0)	100.0	100.0		

### 市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
80.3	16.0	84.0	16.6	85.3	14.9				
重要度DI	満足度DI								
78.5	-16.3	81.5	-15.5	84.0	-20.5				

### 施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時		指標の推移				最終目標値	
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度実績値	2020年度目標値	2021年度目標値		
公有財産の適正管理	5-10	仕分けにより方針を決定した市有地の割合(%)	-	-	20.0	20.0 (75.0)	100.0	100.0		
施設の適正管理	5-10	実施計画に基づき、用途廃止と決定した施設を除いた公共施設の延べ床面積(m <sup>2</sup> )	131,148	131,082	130,994	128,796 (130,874)	130,799 (130,874)	128,688		

## ②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
成果	・普通財産の払下や貸付は積極的に行われ、貴重な財源として有効に活用されている。
現状・課題	・財産の様々な情報を集約し、把握と有効活用を図るために、導入した財産台帳管理システムであったが、システムの完全構築が若干遅れたことから、未利用財産の仕分けが遅れている。また、大きな懸念材料である公共施設の維持管理費の増大に対応するため、公共施設等総合管理計画は策定したが、実施計画の策定が遅れている。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
継続・現状維持	公共施設等総合管理計画において、公共施設等の現状把握や将来目標は整理されている。今後は、現在策定が進められているインフラ長寿命化計画や公営企業の経営戦略、さらに未策定の公共施設等の個別施設計画を策定し、公共施設等総合管理計画の内容を実効性あるものに充実させるため、固定資産台帳との連携を図らなければならない。

## ②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	
継続・現状維持	【総務企画部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。